



天文学の扉を開こう

2月の夜空

【ふたご座】

ふたご座は、ギリシャ神話の大神ゼウスとスパルタの王妃レダの間に生まれた双子の兄弟、カストルとポルックスの姿をかたどった星座です。

オリオン座のリゲルとベテルギウスを結んで、ベテルギウスの方に伸ばしていくと、仲良くなつた2つの星が見つかります。日本でも昔から「金星・銀星」とか「夫婦星」などとよばれ、ペアの星として親しまれてきました。この2つの星は、双子のちょうど頭のところで光っていて、カストルとポルックスという兄弟の名前がそのままつけられています。

2つの星は同じような明るさですが、弟のポルックスが明るい1等星で、兄のカストルは控えめな2等星です。神話で、カストルは人の子、ポルックスは神の子として生まれた、とされているためかもしれません。実際には、カストルが51光年、ポルックスが34光年と、カストルがポルックスよりも遠くにあるため暗く見えるので、同じ距離においたとしたらカストルのほうが明るいのです。

また、カストルを望遠鏡で眺めてみると2つの星に分かれて見えます。「双子のお兄さんも実は双子？」と思いきや、やや離れて暗い9等星があり、これもカストルのメンバーです。しかも、この3星それぞれがまた連星で、結局カストルは六重連星、双子ならぬ6つ子なのです。なんだかややこしいですね。

双子の兄弟の最期について、次のような話が伝わっています。ある日、カストルとポルックスは、牛をめぐる従兄弟たちと争い、カストルは矢にあたって死んでしまいます。ポルックスは従兄弟たちを打ち倒して、カストルの仇をとったのですが、兄の死をたいへん悲しみました。神の子として生まれてきたポルックスは不死身だったので、兄がいる冥界に行くことができません。そこで、ポルックスはゼウスに、いつまでもカストルといっしょにいられるようにしてほしいと頼みました。そんな兄弟愛に心をうたれたゼウスは、2人を天に上げ星座にしたのでした。

2月のぐんま天文台のイベント

・24日(土) スマホやデジカメで月を撮ろう

○星図の説明

2月14日午後9時の高山村の星空。

月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも

同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

★紙袋を使って、鬼のお面を作りました



いづか ひろと くん
「工夫したところは、目を怖くしたところです」



まちだ りゆうせい くん
「頑張ったところは、顔全部です」

★指を使ってマフラーを編む「指編み」にチャレンジしました



さとう るな ちゃん
「マフラーを首に巻いたら、暖かてうれしかったです」



ごとう さわ ちゃん
「出来上がったマフラーは、お父さんにプレゼントします」



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(*^_^*) ☎26-7944(直通)



本宿 星野 詩文ちゃん(2歳)

私の名前は「しふみ」です。

文月の「ふみの日」に生まれた私は「どんなことにも前向きに楽しめるおらかな子になってほしい」という思いを込めて名付けてもらいました。

ママの料理のお手伝いをするのが大好き!「おいしくな〜れ」って言いながら作るととってもおいしくなるんだよ。今のお気に入りには、「しましま」の洋服を着て、おしゃべりすること。あと、歌を歌ってみんなに聞いてもらうんだよ!

こちら「8代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは!第24期緑のふるさと協力隊の松田一馬です!!

高山村に来て9カ月が過ぎて任期も残すところ1カ月半となりました。イベントは少なくなってきたものの活動のまとめ等の事務仕事が増えてきて相変わらず忙しくさせてもらっています。

先月は料理教室、放課後子ども教室、双松寺くじ引き、上毛かるた大会等の様々なイベントに参加しました。特に上毛かるた大会では、競技者としての参加はできなかったものの審判

として参加して、子どもたちの上毛かるたに対する熱意に負けないように真剣に取り組みました。

農業ではこんにく掘りを最後に畑で収穫できるものはなくなってしまうのですが、干し芋づくりや薪づくりなど冬の仕事がスタートしました。

最後に、いよいよ大寒に入り正にしびれるような寒さで温泉のありがたみを感じる頃ですが、急な寒暖差からヒートショックを起しやすくなるため特に年配の方はご注意ください。



村長のそば打ちをお手伝い



雪が降った翌朝、「どうどう淵」が綺麗でした

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori08.jugem.jp/>